



## インターネット環境に適合した「ESTROUT-explorer」 GISとGPSを融合させた画期的な位置 検索システムを開発。使いやすさで大人気。

亡き父は福岡、亡き母は福島出身で私はここ別海町で生まれ育っています。だからこそ私には「地方のために」という気持ち強いのかもしれません。

### 第二回 株式会社イソジエック

各地方で活躍中のICTベンチャー企業を取り上げ、その先進的で意欲的な事業内容などを紹介する「続・ICTベンチャー全国十選」連載の第二回は、GIS（地理情報システム）とGPS（位置情報システム）という二つの技術を融合させた「ESTROUT-explorer」を開発した北海道・別海町のイソジエック社を紹介いたします。創業者の磯田忠雄代表取締役役に早速、伺ってみましょう。（北海道総合通信局推薦）



磯田 忠雄  
代表取締役

株式会社イソジエックは、測量会社として、平成四年七月に北海道野付郡別海町において、代表取締役である磯田忠雄氏により設立された。

磯田氏は、従来の測量データ等をもっと活用できないかと考え、データを効率的に活用できるように電子化にいち早く取り組んだ。その後、これからの時代はGIS（地理情報システム）が主流になると考え、平成十一年七月には仲間とともに北海道GIS技術研究会を設立し、GISの利活用について、都市圏ではなく別海町で初めて発表した。

続いて、東京ビックサイトで

情報システム）を融合させた位置検索システム「ESTROUT-explorer」を開発し、さらに平成十八年三月には、この位置検索を携帯電話で確認できるシステムを完成させた。

イソジエック社を設立した経緯について教えてください。

磯田●私はもともと測量技師です。札幌で地籍調査事業を主とする航測会社勤務し、青函トンネルの測量にも係わりました。その後、別海町で地方交付税の算定基礎となる千三百二十キロメートルの道路台帳の整備のために、測量士を募集したことで地元へ帰り、別海町役場で測量業務の監督をしながら、自らも現場の測量業務をこなしました。

しかし、道路台帳の整備の区切りが付いたら、この地で会社を興すと役場の仲間にも言っており、平成四年二月に退職願を出しましたが、業務引き継ぎのために、起業直前の六月まで在職しました。

ESTROUT-explorerの強みについて教えてください。

磯田●当社のシステムの大きな特徴は、インターネット環境さえあれば初期費用はかからないこと、定額低料金であること、そしてお客様の要望にあわせて地図データを自由に追加・削除できるこの三点です。

ESTROUT-explorerは、独自の地図データを入れることで、詳細な地図情報を表示させることが可能になります。例えば、ゴルフ場の平面図を挿入してカートにGPSを設置することでパーティーの進捗状況も把握できるし、海図を入れて漁船GPSを設置すれば安全航海にも利用できるといように、いろいろな応用ができると思います。

今後は販路開拓のために販売代理店制度、または商社との連携も検討したいと思っています。

ESTROUT-explorerを開発するにあたって苦労された点

について教えてください。

磯田●GIS担当者やESTROUT-explorerのシステム作りに専任させましたが、じつはGISとGPSの融合は技術的に容易でなく、開発に二年間を要しましたが、システムの一部については現在特許を出願中です。この開発を成し遂げたことで苦労もありましたが、社員本人、会社の双方にとっていろいろな意味で自信となりました。また、大手通信業者との信頼関係によって、新たな事業も生まれています。

今後新しく製品開発を行ううとしているベンチャー企業に対して、アドバイスをお願いします。

磯田●皆、それぞれ目指す分野が違いますから、私はそんなに偉そうなことは言えません。ただ一ついえることは、強い信念で取り組むことはもちろんですが、取り組む社員の理解が最も大切だと思います。

———ありがとうございます。  
（取材構成／総務省情報通信政策課・藤井裕子）

【企業情報】イソジエック

・資本金 千五百万円

・従業員数 十二人

・売上高（未公開）

・本社 北海道野付郡別海町別

・海川上町一三九一〇八

・ホームページ  
<http://www.isojec.com/>